大会名 Competition	第２６回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-115	Year Month Day Time 2013 年 5 月 5 日 15 : 05
場 所 Place	能代市総合体育館

チームＡ		チームＢ
明 成	23 1st 19 20 2nd 14 12 3rd 21 28 4th 11 OT	能代工高
83 ○		65 ●

主審:Referee
藤垣 庸二 宮城県
副審:Umpire
片寄 達 宮城県
佐藤 匠 秋田県
ﾃｰﾌﾞﾙ･ｵﾌｨｼｬﾙｽﾞ:Table officals
能代松陽（女）

No,	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
4	／	金 子 大 希	2	0	1	0	1
5	／	納 見 悠 仁	0	0	0	0	0
6	×	植 村 哲 也	4	0	1	2	4
7		森 川 文 弥	－	－	－	－	0
8		三 上 侑 希	－	－	－	－	0
9	／	築 井 良 知	6	1	1	1	1
10	×	白 戸 大 聖	13	1	5	0	1
11	×	宮 本 滉 希 CAP	16	0	7	2	2
12	／	栁 川 知 之	0	0	0	0	2
13	×	松 本 健 寛	0	0	0	0	1
14	×	八 村 塁	42	0	20	2	3
15		井 上 駿	－	－	－	－	0
16		足 立 翔	－	－	－	－	0
17		富 樫 洋 介	－	－	－	－	0
18		増 子 優 騎	－	－	－	－	0
ｺｰﾁ		佐 藤 久 夫					
Aｺｰﾁ		橋 本 陽 介					
合 計			83	2	35	7	15

No,	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
4	×	松 本 大 河 CAP	11	1	4	0	4
5	×	佐々木 健 登	16	1	4	5	3
6	／	安 保 友 貴	0	0	0	0	0
7	×	小田桐 匡 志	22	4	5	0	1
8	／	三 根 一 求	0	0	0	0	0
9	×	砥 綿 啓 伍	3	0	1	1	0
10	×	荒 木 直	4	0	1	2	1
11		金久保 翔	－	－	－	－	0
12		湊 俊 樹	－	－	－	－	0
13	／	長谷川 暢	9	0	4	1	1
14		斉 藤 大 輔	－	－	－	－	0
15	／	中 村 碧 杜	0	0	0	0	0
16		渡 邉 竜 也	－	－	－	－	0
17		盛 實 海 翔	－	－	－	－	0
18		小 室 望 海	－	－	－	－	0
ｺｰﾁ		佐 藤 信 長					
Aｺｰﾁ		栄 田 直 宏					
合 計			65	6	19	9	10

※×:ｽﾀｰﾀｰ ／:交代選手 PTS:ﾎﾟｲﾝﾄ 3P:3Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ 2P:2Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ FT:ﾌﾘｰｽﾛｰ F:ﾌｧｳﾙ

ここまで3勝1敗の明成と2勝2敗の能代工による最終戦。
1Q，明成はハーフコートマンツーマン，能代工はフルコートマンツーマンのディフェンスでスタートする。序盤は明成#11宮本，#14八村のゴール下で得点するのに対し，能代工はボールマンへのプレッシャーを強めながら，#5佐々木のジャンプシュートや#7小田桐の3Pで入れ返し，互角の展開でゲームが進む。両チームともオフェンスリバウンドに積極的に飛び込み，得点に結びつける。残り4分，明成が1回目のタイムアウトをとった後，ゴール下で明成#14八村が連続得点で点差を広げ，23-19の明成4点リードで1Qを終了。
2Qに入っても，明成は#10白戸のジャンプシュートや#14八村のゴール下1対1で得点し，残り7分で10点差となったところで能代工が1回目のタイムアウト。直後に#10荒木のフリースロー，#4松本のインターセプトからのレイアップや3Pなどで3点差まで詰め寄り能代工は流れをつかむ。しかし、明成が2回目のタイムアウトでオフェンスを立て直し，#14八村にボールを集め，再び10点差とする。ここで能代工が2回目のタイムアウトを請求，ディフェンスを修正し，ボールマンへのプレッシャーを強めミスを誘う。能代工#13長谷川，明成#10白戸がジャンプシュートを1本ずつ決め，43-33の明成10点差で2Qを終える。
3Q，立ち上がり明成はゴール下にボールを集め， #14八村，#11宮本が計3本のゴール下を決め，残り8分で能代工1回目のタイムアウト。能代工はディフェンスをフルコートのゾーンディフェンスに変え，リバウンドからの速攻や#5佐々木のジャンプシュート，#7小田桐の3Pなどで15点連続で得点を重ね，残り1分で1点差まで詰め寄る。明成#14八村がゴール下で得点するも，能代工#13長谷川がすぐに入れ返し，55-54の明成1点リードで3Qを終える。
4Q立ち上がり，能代工#10荒木のオフェンスリバウンドから#5佐々木が3Pを決め逆転するも，すかさず明成#14八村がゴール下を決め同点とする。徐々にゾーンに慣れてきた明成は，#6植村のジャンプシュートや#9築井の3Pで得点を広げ，残り6分で7点差となったところで能代工が2回目のタイムアウト。能代工#4は松本がドライブで得点するも，明成は#10白戸の連続得点でゆずらず、残り4分12点差となったところで能代工は3回目のタイムアウト。その後も明成の厳しいディフェンスでシュートを決めきれない能代工に対し，明成はゴール下で得点を重ね，83-65の18点差で明成が勝利した。

文責 【 畠山 労 】